

平成27年度

美深町行政評価報告書

(平成26年度施策)

平成27年度行政評価（平成26年度施策）について、次のとおり報告する。

平成27年 8 月 31 日

美深町行政評価町民委員会 委員長 水 本 守

美深町行政評価委員会 委員長 今 泉 和 司

1 評価の対象

第5次美深町総合計画に基づいた31の施策を評価した。

2 評価の方法

253の事務事業からなる102の主要施策について、行政評価委員会から提出された評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

※1 行政評価町民委員会 委員長 水本 守、副委員長 齊藤 宏行 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎佐竹 仁 ○堀 博明、深川 勇、鈴木正美、細川智義 前鼻陽子
産業経済部会	◎松本芳則 ○斎藤雄太、水本 守、菅野勝義、加川可名子
環境行財政部会	◎齊藤宏行 ○雪田明美、佐藤智三、荒木久恵、斎藤聡明

※2 行政評価委員会（行政内部） 委員長 今泉和司、副委員長 渡邊英行 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎玉置一広 ○望月清貴、藤原裕子
産業経済部会	◎草野孝治 ○杉本 力、吉田克彦
環境行財政部会	◎羽野保則 ○長谷川 浩、阿部憲一

※3 三部会の評価施策数	
福祉教育部会	12施策 [41主要施策(120事務事業)]
産業経済部会	6施策 [17主要施策(51事務事業)]
環境行財政部会	13施策 [44主要施策(82事務事業)]

※4 四段階評価	
A評価 取り組んでいる	B評価 概ね取り組んでいる
C評価 一層の取り組みが必要	D評価 取り組みが見られない

3 評価の経過

美深町行政評価の実施に関する取扱要綱に基づき、平成27年7月28日に第1回行政評価委員会を開催以降、8月11日には第1回の行政評価町民委員会を開催し、次のとおり行政評価を実施した。

- ・ 5月15日 1次(事務事業)評価調書作成
- ・ 6月 4日 2次(主要施策)評価調書作成
- ・ 7月28日 第1回行政評価委員会

- ・ 8月11日 第1回行政評価町民委員会
- ・ 8月11日 第1回各部会開催（3部会～2次評価結果確認作業）
- ・ 8月19日 第2回福祉教育部会（合同会議）
- ・ 8月20日 第2回環境行財政部会（合同会議）
- ・ 8月24日 第2回産業経済部会（合同会議）
- ・ 8月31日 第2回行政評価町民委員会
第3回各部会開催（3部会評価結果確認）

4 評価の結果

31施策のうちA評価は22施策 [71.0%]（前年度：19施策）、B評価は9施策 [29.0%]（前年度：12施策）、C評価、D評価はなかった（前年度もなし）。

このようなことから、第5次美深町総合計画に基づく施策のほとんどは、取り組みがなされている若しくは概ね取り組まれているものと評価できる。

主要政策ごとに区分した施策の評価結果の概要については、以下のとおり。

1 自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」		2 資源をいかす活力に満ちたまち「美深」	
1 環境保全・環境衛生の推進	A (A)	1 農業の振興	B (B)
2 道路・交通網等の整備	B (B)	2 林業の振興	A (A)
3 住宅の整備	B (B)	3 商工業の振興	A (A)
4 計画的な土地利用	A (A)	4 観光の振興	A (A)
5 消防・防災体制の充実	<input checked="" type="checkbox"/> A (B)	5 新たな地場産業の創出	B (B)
6 交通安全・防犯対策の推進	A (A)	6 就労対策・勤労者福祉の充実	A (A)
7 情報化の推進	A (A)		
8 消費生活対策の推進	A (A)		
3 次代を創る人を育てるまち「美深」		4 健康で明るく暮らせるまち「美深」	
1 幼児教育の充実	A (A)	1 健康づくり・医療の充実	B (B)
2 学校教育の充実	A (A)	2 子育て支援の充実	A (A)
3 家庭・地域教育の充実	<input checked="" type="checkbox"/> A (B)	3 高齢者支援の充実	A (A)
4 社会教育の充実	<input checked="" type="checkbox"/> A (B)	4 障がい者支援の充実	A (A)
5 芸術・文化活動の推進	B (B)	5 地域福祉の充実	A (A)
6 スポーツ活動の推進	A (A)	6 社会保障の充実	A (A)
5 みんなでつくる心かようまち「美深」		集 計	
1 住民主体のまちづくりの推進	B (B)	A評価	22施策 [71.0%] (19施策)
2 コミュニティ活動の充実	A (A)	B評価	9施策 [29.0%] (12施策)
3 男女共同参画の推進	B (B)	C評価	0施策 [0%] (0施策)
4 交流活動の推進	A (A)	D評価	0施策 [0%] (0施策)
5 行政経営の充実	B (B)	計	31施策

(注) ()書きは前年度の評価結果。 は前年度よりも評価が上がったもの。

○ 自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」

環境保全・環境衛生の推進では、新エネルギー普及事業に関しては、びふか温泉にバイオマスボイラー、美深中学校に太陽光パネルが設置され、温室効果ガス排出抑制が進んでいると評価する。さらに、支援制度が活用されて一般住宅向けの太陽光発電設備などの導入も見られており、今後の普及拡大に期待している。

有害鳥獣による農業被害等が増加する中、対策が強化され一定の成果をあげていると評価するが、ハンター育成やエゾシカの残滓処理など課題もあり解決に努められたい。

道路・交通網等の整備では、公共交通の充実では、フレンドバスの本格運行後、特に高齢者の足として定着しており評価できるが、今後は経費の低減や安全運行管理に配慮しつつ運営して欲しい。

冬期間の安全安心な住民生活確保には除雪体制の維持が欠かせないことから、多額な負担を要する雪寒機械の更新事業についても、計画的な更新を図るとともに、引き続き機械のオーバーホール対応など延命化に努力されたい。

住宅の整備では、公営住宅は、日常的な保守点検や定期点検の実施によって、建物の老朽化や劣化防止に努力されていると評価する。今後も耐久性の向上等を図る改善に努め、修繕周期の延長や住宅等の長寿命化を図られたい。

移住住宅は、冬期間の体験利用が少ない状況であるので、恒常的利用されるよう努力が必要である。移住体験を通じて魅力を発見してもらうことにより、本町への移住促進や、観光部門の交流人口の増加が図られるので、積極的なPRと併せ施設の充実などにも取り組まれたい。

計画的な土地利用では、市街地においては、住宅解体補助の効果もあり、危険家屋等の整理が進んでおり、景観と生活環境の改善が進んでいると評価するが、放置家屋については行政主導で解体できる仕組みや組織作りを検討されたい。

公園・緑地の整備では、都市公園や農村公園を指定管理により良好に管理されていると評価するが、老朽化している施設は計画的な改修が望まれる。

また、スキー場の景観整備後は、公園として管理されることになると考えるが、観光資源として活用されるよう期待する。

消防・防災体制の充実では、消防庁舎改修及びデジタル無線化が完了し、災害等による被害軽減及び人命救助活動が、より迅速に対処されるものと期待する。

消防団の充実では、一定の団員が確保され消防防災体制の中核的組織として、住民の安心・安全の確保を果たしているものと評価できる。女性団員数が他町村と比べ少ないため、確保に努められたい。

交通安全・防犯対策の推進では、交通安全、地域安全運動等、住民参加と警察や関係機関と連携し日常的、効果的な運動が推進されており評価できるが、町内には危険な交差点も数箇所見受けられるので警察と協力して整備を進められたい。

防犯対策の推進では、計画的な街灯改修事業の実施により、省エネを図ると共に犯罪のない安全安心なまちづくりの推進が図られており評価できる。LED化によって害虫の防止にもつながっているため、今後も計画的に進めてほしい。

情報化の推進では、全町への高速情報通信網（光ファイバー）の整備により、多様な情報提供の充実が図られている。超高速ブロードバンド利用者が当初計画より伸びており、期待以上の成果があり評価できる。今後も様々な分野へ工夫して利用が図られるよう期待する。

消費生活対策の推進では、広域で専門相談員が配置され、悪質化・巧妙化する消費者犯罪等に対する相談業務が整備されており評価する。

消費生活に関する情報提供・啓発活動の推進では、身近な犯罪への防止対策に引き続き取り組むと共に、新たな消費生活課題へも柔軟に取り組む必要がある。広報誌や防災情報端末を活用した啓発・広報活動を図るとともに、迅速な情報提供にも努めて欲しい。

以上のとおり、『**自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」**』における施策評価は、A評価が6施策、B評価は2施策であり、全8施策について良く取り組まれていると評価する。

○ 資源をいかす活力に満ちたまち「美深」

本町の基幹産業である、**農業の振興**はきめ細かな施策が展開されており、引き続き実効あるものとなることを期待している。

最重要課題である担い手の育成・確保については、農業研修生等宿舎も有効活用されている。農業体験実習生が新規就農を希望するなど、今後の担い手確保につながるものと期待しており、持続ある美深農業の確立を目指すべく、関係機関・受入指導組織がより連携し推進に努められたい。

また、長年の懸案であった、北はるか農協の米麦乾燥調製施設が町単独補助事業により整備されたことにより、米麦の適期収穫と品質向上につながるもので評価できる。

なお、課題である農業労働力確保について、具体的対策が急がれる。

農業とあわせて、**林業の振興**も本町の基幹産業であり、平成25年度に美深町木質バイオマス原料安定供給に関する協定が締結、平成26年度にびふか温泉に木質バイオマスボイラが導入され、林業経営安定化が図られることが期待できる。

森林の保育事業は、経営計画に基づき効率的に推進され、森林の健全な育成や公益的機能が発揮されており、森林育成は、将来を見据えた自然環境としても欠かすことのできない事業である。

また、主要産業として林産業の振興は重要であり、林業経営活性化協議会等を中心とした各事業が展開されている。

森林作業者の長期就労を目指した事業や森林に親しむ環境づくりなどのソフト事業も行っており安定した林業就労環境に期待する。

一方、木材需要環境や流通価格等は依然と厳しい状況であるが補助金とタイアップした設備投資も徐々に展開されており今後の全般的な林業振興についても期待する。

商工業の振興においては、商工会に対する支援は特に充実していると高く評価する。

平成26年度については2回のプレミアム商品券発行事業が行われ商店街の活性化が図られてきている。

さらに、快適な住まい環境と商工業振興事業については店舗近代化や住宅リフォーム等の補助により地元建設業や関連業界などの事業活動が活性化されるとともに、住環境の向上が図られてきている。

また、企業誘致促進事業については、商工業担い手支援条例など整備が図られてきているが、企業を誘致する際、慎重な判断を行う必要がある。

観光の振興は、観光協会を中心に地域の観光情報が広く発信されてきている。

また、観光事業化が難しい道北地域ではあるが、魅力ある観光資源を活用するとともに、着地型観光の推進や教育旅行の受入体制整備を図るため積極的に事業が展開されてきており期待できる。

新たな地場産業の創出は、美深町商工会青年部が開発した「美深かぼちゃどぶろく」が3年目をむかえ好評を得ており、町の活性化が図られてきているが、今後も新たな特産品の開発、定着化や産業化につながるよう期待している。

平成26年度から施行された商工業担い手支援条例では、新規開業、事業承継、新たな雇用の創出が図られ、商工業の振興につながっている。

就労対策・勤労者福祉の充実においては、職業能力向上支援事業での失業者や求職者の継続的な希望もあるため、今後も継続的な助成による支援が必要である。

さらに、退職金共済制度は大切な制度であり、今後も継続的に支援をする必要がある。

勤労者福祉資金については、市中金融機関の利率低下や、多様なキャンペーン影響により利用者は少ない状況となってきているが、労働者の厚生事業として今後も利用促進に向けPR等検討すべきである。

以上のとおり、『資源をいかす活力に満ちたまち「びふか」』における施策は、A評価が4施策、B評価が2施策であり、全6施策はほぼ取り組まれていると評価する。

○ 次代を創る人を育てるまち「美深」

幼児教育の充実では、幼児教育の充実、子育て支援事業ともに、保護者のニーズに即した運営が行われており高く評価できる。時代背景の変化、保護者の就労状況の多様化に対応する柔軟な取り組みが行われることにより、充実した子育て環境になると期待できる。

学校教育の充実では、いずれも良く取り組まれていると評価するが、美深高等学校の存続問題に対し行政も危機感を持ち、特色ある学校づくりが目に見える支援が必要である。

また、子供達に戦争体験、戦後の日本の復興を語り伝える教育活動にも期待をしたい。

家庭・地域教育の充実では、昔は親だけではなく地域が子供を育てる土壌があったが、現在はそのような地域の環境も薄れており、家庭や地域教育における交流の場が求められている。放課後児童・子供の教育環境も充実しておりA評価とする。

社会教育の充実では、フロンティアアドベンチャー事業は子供の成長も見られ、26年間継続している価値のある事業と評価できる。図書室内は綺麗に整理されており、新刊要望にも迅速に対応いただいている。各種公民館事業も幅広く取り組まれており、前年度B評価を今年度はA評価とする。

芸術・文化活動の推進では、COM100文化ホール事業において趣向を凝らした芸術、

歌謡、演芸等の事業が開催されており、町外からの鑑賞客も多く町内外から高く評価をされている。COM100は美深町が誇れる施設であり、利用実績からも良い評価ができる。

伝承遊学館の見せ方の工夫や、歴史ある建物を保存する年表的な書類や、文化財の維持補修計画に期待し、本年度はB評価とする。

スポーツ活動の推進は、こどもスポーツ未来基金は、青少年スポーツの振興に大いに期待できるものであり高く評価できるが、基金が途中で不足しないような運用を期待したい。

エアリアル事業はピョンチャン五輪のカナダチームの合宿誘致に取り組むなど高い評価であり、美深町を宣伝する重要なチャンスと位置づけるべきである。夏場の練習環境の充実、年間を通じた指導者の確保などが課題であり、予算を確保する中で課題解決に向けて積極的に取り組むべきである。

以上のとおり、『次代を創る人を育てるまち「美深」』における施策評価は、A評価が5施策、B評価は1施策であり、全6施策を通して多種多様な事業を大変良く取り組まれており、全体的に高評価と位置づけする。

○ 健康で明るく暮らせるまち「美深」

健康づくり・医療の充実は、各種検診事業は、きめ細かく行われているが、受診率向上に向け引き続き改善に努めてほしい。また、安心できる地域医療体制の確保のため、美深厚生病院への支援は必要であるが、町民の意見、苦情等も聞かれることから、改善指導も継続されたい。

子育て支援の充実は、特に良く取り組まれており、町民からも優れていると評価が高い。今後も質を落とさないよう引き続き取り組んでほしい。また、子供が産まれた時の施策としてインパクトのある事業展開を期待したい。

高齢者支援の充実は、多種多様に渡る分野で、大変よく取り組まれており、老後も安心して美深町に住み続けることができると判断し、事業の維持継続を要望したい。今後も地域の高齢化や核家族化がますます進んでいく中で、隣近所、自治会組織等の連携により、孤独死などが起きない見守り体制等の確保を期待する。

また、びふか温泉の高齢者の無料化（現在100円）を検討願いたい。

障がい者支援の充実は、他町村と比較しても目に見えて、障がい者支援に取り組んでおり、町全体で協力している体制が理解できる。特別支援学級から高等養護学校、のぞみ学園やグループホームと社会人になっても美深町で働くことのできる体制づくりは高く評価できる。

地域福祉の充実は、充実していると評価する。今後も質を落とさないよう引き続き取り組んでほしい。

社会保障の充実は、国の制度の部分はすべてしっかり取り組まれていると評価する。

以上のとおり、『健康で明るく暮らせるまち「美深」』における施策評価は、A評価が5施策、B評価は1施策、全6施策を通して高評価であり、維持継続を期待する。

「福祉の町」として町民ニーズに対応し、大変良く取り組まれていると評価する。

○ みんなでつくる心かようまち「美深」

住民主体のまちづくりの推進では、地域おこし協力隊員を確保し、それぞれ専門性をもった事業の推進を担っており、今後も活躍に期待している。任期満了後も定住し地域活動が継続されるよう、行政のサポートが必要である。

地域人材育成事業では、人材育成は難しい事業であり、時間を要するものと理解する。今後も地域リーダーの育成のためには民間と町職員との研修制度は有意義であるので、様々な手法を研究しつつしっかり取り組むべきである。

新しい公共事業については、買い物宅配支援サービスの推進、見守り支援などの推進など評価できる。今後は、図書配達など生活支援以外の新しい分野への拡大も検討しつつ進めて欲しい。

コミュニティ活動の充実では、一定の支援により自治会活動の推進が図られているが、高齢化やリーダー、担い手不足は各自治会共通課題となっており、行政の指導を期待すると共に、課題解決へ向けた支援策も検討すべきである。

地域集会施設等の充実では、老朽化による修繕やコミュニティ助成事業を受けて備品の整備など継続して対応されており、よく取り組まれていると評価する。

男女共同参画の推進では、行政の各種委員や自治会行事などにおいて女性参加は以前より多く見られることから、意識は高まりつつあると評価できる。

男女共同参画社会の促進では、一層の啓発活動の充実と積極的参加を期待する。女性の参加がなくても意見が反映されるような体制作り、意識作りが必要である。

交流活動の推進では、物産PR販売をはじめとする地域間交流活動の推進やふるさと美深会活動において、新たに関わる町民が増えてきている傾向にある。各地に住まいする本町出身者等との人的ネットワークづくりを一層推進されるよう期待する。

一方で、依然として若手の参加が低調であり、次代を担う若手の交流機会の創出をはじめ将来に向けた工夫が必要である。

行政経営の充実では、厳しい財政状況下にあることから、役場庁舎の改修について先送りされているが、築52年を経過し老朽化が進行し耐震性も十分ではない。災害時の住民情報の保全や本部機能を果たす必要があることなどから、将来の財政状況を見据え、災害に強い庁舎の確立に向けた計画を推進すべきである。

OAシステムに関しては、今後のマイナンバー制度が導入されることから情報漏えい防止対策を再度点検するとともに、制度に関するPRに努めることが必要である。

以上のとおり、『みんなでつくる心かようまち「美深」』における施策評価は、A評価が2施策、B評価は3施策、全5施策については概ね取り組まれていると評価する。

以上、平成26年度行政評価報告とする。

美深町行政評価報告書

付属資料

